

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
Webデザイン論 Theory of Web Design		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
Webプログラミング I				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
亀田和則	講義棟 3F	月曜日	授業中に指示します	
授業の概要				
ブランド力(知名度)がある会社のWebページに関する制作は、「見た目がきれい」というイメージ先行型が採用されていることが多い。この授業ではブランド力を兼ね備えていない中小企業が初めてWebサイトを開設することを念頭に置き、「キーワード設定」から「SEO(検索結果が上位に表示)対策」まで講義する。更に学生一人一人が「架空の店のオーナー」となり、店の「キャッチコピー」を考え、キャッチコピーにもSEO対策を施すことをバーチャル的に体験する。				
授業の目標				
①なぜキーワードで集客できるのか説明できるようにする。②キーワードの特徴を説明できるようにする。 ③稼げるキーワードを探せるようにする。④稼げるキーワードを加工できるようにする。 ⑤集めたキーワードを「絞り込む」ことができるようにする。 ⑥的確な「キャッチコピー」の作り方を説明できるようにする。 ⑦「漢字表記」と「ひらがな表記」を使い分けができるようにする。 ⑧様々なキーワード検索ツールを使い分けができるようになる。 ⑨WEB解析ツールであるGoogleウェブマスターツールとGoogleAnalyticsを使い分け、WEBサイトの問題点を分析できるようにする。				
授業の方法				
①9つの目標を達成させるための講義を行う。②架空の店のオーナーとなり、理解を深めるために演習も行う。 ③教員が管理するサイト(sano3sogo.com)を教材として利用する。④講義を聴きながら、配布されたプリントの穴埋めをする。 ⑤原則としてスケジュール通りに授業を行うが、スケジュールを変更する際には授業にて連絡する。 ⑥課題とレポートはネットで外部に公開する。				
学習の成果(学習成果)				
1) SEO対策について授業の目標①～⑧が関連していることを認識することができ、SEO対策に関して効果的なキーワードを選択するプロセスを説明することができる。2) 授業の目標⑨を達成すると、分析されたWEBサイトの問題点に関する改善策を施すことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(学習成果、成績評価)。 WEBサイトを構築するための主な5つの目的について講義する。SEO対策に必要な要素について講義する。			
第2回目	なぜキーワードで集客できるのかについて講義する。キーワードの特徴を知るについて講義する。(教員が用意した「架空の店」をくじ引きで割り振る)。			
第3回目	稼げるキーワードを探すについて講義する。(課題:各自が授業の中で構築するWEBサイトの「架空の店」のキーワードを10個、次の授業にて提出する)。			
第4回目	稼げるキーワードを加工するについて講義する。			
第5回目	集めたキーワードを絞り込むについて講義する。(課題:各自が授業の中で構築するWEBサイトの「架空の店」のキーワードを4つに絞り込む。次の授業にて提出する)。			
第6回目	「漢字表記」と「ひらがな表記」の使い分けについて講義する。			

第7回目	例を用いながら、キャッチコピーを作る手順を講義する。	
第8回目	講義内容に則り、キャッチコピーを作る。（課題：キャッチコピーを次の授業にて提出する）。	
第9回目	教員が管理しているホームページのSEO改善ポイントを講義する。学生はSEO改善のために、レポート（記事）を12回目の授業で提出する。	
第10回目	サイト管理（JPRS）とマークアップ言語について講義する。学生は、15回の授業までに課題全てに関する内容の説明を教員の研究室で行う。	
第11回目	CMS（コンテンツマネジメントシステム）によるサイト構築（Jimdo）について講義する。スマートフォンによるサイト更新について講義する。	
第12回目	ソーシャルメディアによるSEO対策について講義する。	
第13回目	クレジット決済代行サービスPayPalについて講義する。	
第14回目	ネットショップの開店について講義する。	
第15回目	学生個々のレポートに関するアクセス数を確認する。授業で学習した内容を復習する。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	プリントの穴埋めが該当する。満点となる条件は、「全ての解答が正解」である。
レポート	30%	SEO改善のためのレポートが該当する。満点となる条件は、「15回目の授業時のアクセス数が一定の数を超えた場合」である。具体的な数は授業にて発表する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他	40%	課題が該当する。評価基準は「目標の①～⑧」である。満点となる条件は、「使用したツールの選択理由とそれぞれの目標に対するプロセスを明快に説明している」である。
教科書と参考図書		
教科書：ネットでの売上に直結する 集客・検索キーワードの選び方・使い方（出版：ソシム）（著者：瀬川和人）		
履修上の留意点・ルール		
2回の遅刻は1回の欠席となる。		